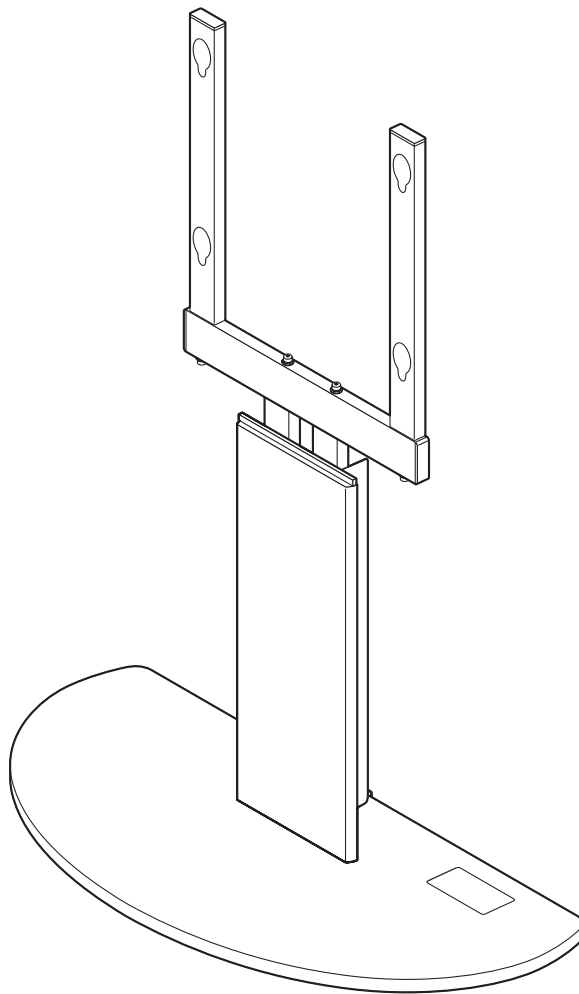
Panasonic®

組み立て設置工事説明書

壁寄せ専用スタンド

品番 **TY-WS4P2**

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 組み立て設置工事の前に、この「組み立て設置工事説明書」と２～３ページの「安全上のご注意」、プラズマテレビの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい組み立て設置工事を行ってください。プラズマテレビの取扱説明書とともに大切に保管してください。

TQZJ088-1

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⚠	気をつけていただく内容です。
⊘	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

工事専門業者以外は組み立て設置、取り外し工事を行わないでください

禁止

工事の不備により、落下や転倒して、けがの原因となります。

長い距離を移動させる場合は機器本体を壁寄せ専用スタンドから取り外してください

- 取り外さないで長距離を移動すると不安定になり、落下・転倒してけがの原因となります。
- その他の近距離の移動などについては、８ページの「移動について」をご確認ください。

壁面から離れた場所に設置しないでください

禁止

倒れて、けがの原因となります。

ふすま・障子・アコーディオンカーテン等の前での使用は不安定になる為、設置しないでください

禁止

倒れて、けがの原因となります。

壁寄せ専用スタンドを分解したり、改造しないでください

分解禁止

倒れたり、破損して、けがの原因となります。

壁面を背にして設置してください

倒れてけがの原因となります。

掃除や配線処理などで壁面から離す場合は、補助金具を必ず矢印の刻印まで引き出してください

倒れて、けがの原因となります。

⚠注意

カタログで指定した機器本体以外には、使用しないでください

落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

壁寄せ専用スタンドに乗ったり、踏み台代わりに使用しないでください

倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。（特に小さいお子様にご注意ください。）

湿度の高い場所では使用しないでください

長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

直射日光を避け、熱器具から離してください

長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください

不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

水平で安定した所に据えつけてください

倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

テレビは転倒・落下防止の処置をしてください

地震や、お子様がよじ登ったりすると、転倒や落下をして、けがの原因になることがあります。

電源コードを底板にはさまないように設置してください

底板の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

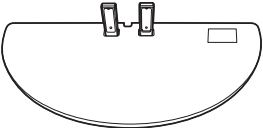
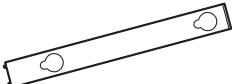
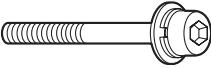
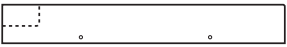
機器本体より上面・左右は 10cm 以上、後面は 7cm 以上、本機下面と床面との空間をふさがないでください

機器本体には通風孔があり、これらをふさぐと火災の原因となることがあります。

テレビ設置時に、指をはさまないようにご注意ください

けがの原因となることがあります。

機器本体と壁寄せ専用スタンドの組み立て設置、取り外しは 2 人以上で行ってください

機器本体が落下してけがの原因となることがあります。

取り扱い上のお願い

1）直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。
2）壁寄せ専用スタンドのお手入れは、やわらかい乾いた布（綿・ネル地など）でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはがれたりしますので、使用しないでください。
(機器本体のお手入れは機器本体の説明書に従ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
3）粘着性のテープやシールをはらないでください。壁寄せ専用スタンドの表面を汚すことがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。（変質の原因となります。）
4）設置時、衝撃などによって機器本体が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。

■ 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

構成部品

壁寄せ専用スタンド組み立て用部品

① 底板　（1 個）	② 支柱　（1 個）	③ 支柱固定用ねじ　（4 本） M 6 × 15
④ 角パイプ A　（1 個）	⑤ 角パイプ B　（2 個）	⑥ 角パイプ固定用六角ボルト　（4 本） M 8 × 65
⑦ 六角レンチ（付属工具） （6 mm 用　1 個）	⑧ クランパー　（5 本）	⑨ 配線カバー　（2 枚）
⑩ 配線カバー固定用ねじ（4 本） 転倒防止用クランパー固定用ねじ（2 本） テレビ本体固定用ねじ（2 本） 4 × 12		⑪ 転倒防止用クランパー　（2 個）

取り付け用部品

Ⓐ 六角穴付き皿ねじ（4 本） M 8 × 45	Ⓑ 皿型歯付き座金（4 個）	Ⓒ 絶縁スペーサー（4 個）

■イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

組み立て設置工事上の留意点

■ **プラズマテレビ本体の性能保証やトラブル防止のため、次の場所には設置しないでください。**
- スプリンクラーや感知器のそば
- 高圧線や動力源の近く
- 暖房機器の風が当たる所
- 振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
- 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
- エアコンの下などの水滴のかかるおそれのある所

■ **機器周囲温度が 40 ℃を超えることがないように、空気の流通を確保してください。**
プラズマテレビ本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

■ **組み立て設置工事中に製品や床に傷が付かないよう、柔らかい毛布や布を使い、作業してください。**

■ **ねじ止めをするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。**

■ **機器本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。**

■ **組み立て設置工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。**

組み立て設置工事手順

1. 壁寄せ専用スタンドの準備

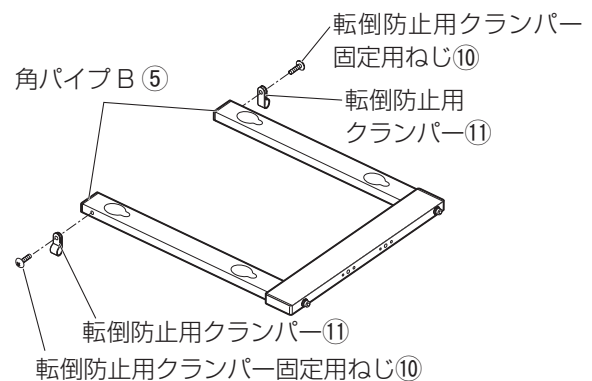
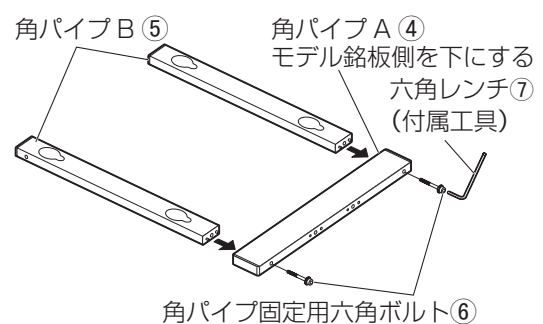
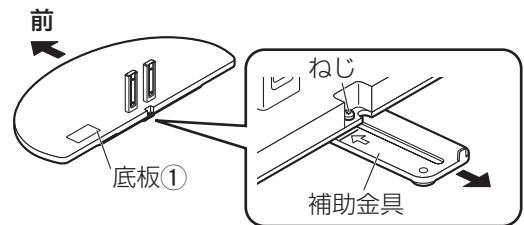
組み立て設置工事は、プラズマテレビ本体を設置する場所に近い場所で行ってください。
壁寄せ専用スタンドは約 34 kg です。

お願い

●組み立て設置工事は 2 人以上で行い、指はさみや腰を痛めないようにご注意ください。

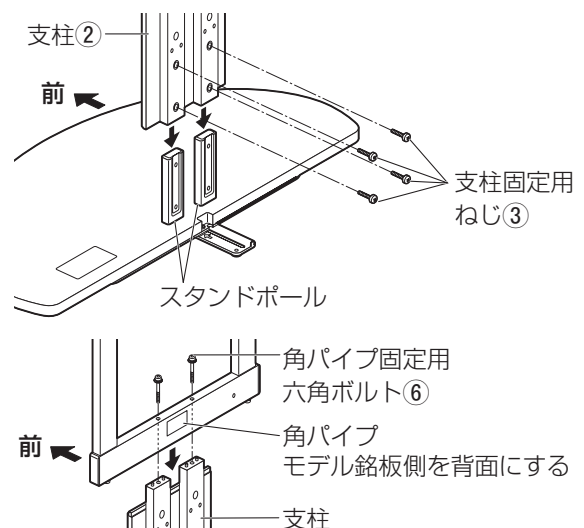
1. 底板①の後部についている補助金具のねじをゆるめ、矢印の刻印まで引き出し、ねじを締めて固定してください。
（補助金具は、組み立て・取り外し時の転倒防止用です）

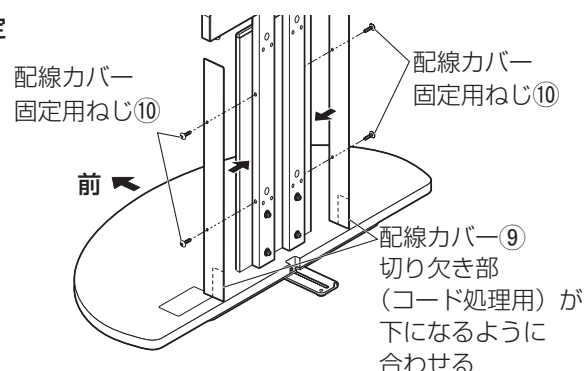
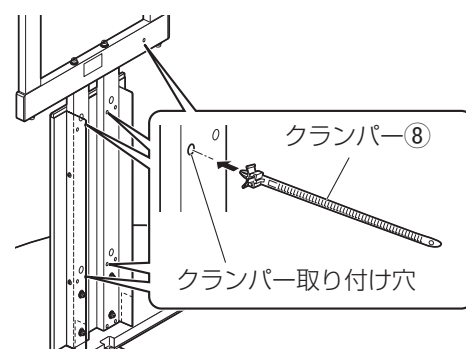
2. 角パイプA④と角パイプB⑤を右図のようにして、平らな場所に置き、角パイプ固定用六角ボルト⑥（2 本）で取り付けてください。
※付属工具の六角レンチ⑦をご使用ください。
（締め付けトルクは 8 〜 10 N·m）

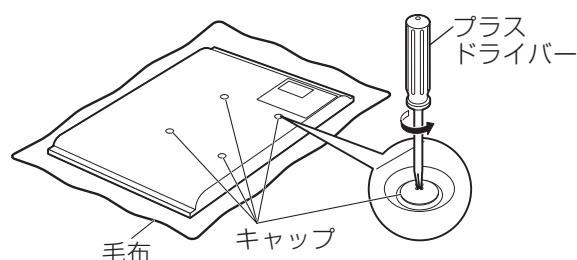
3. 組み立てた角パイプB⑤の外側に転倒防止用クランパー⑪（2 個）を転倒防止用クランパー固定用ねじ⑩（2 本）で取り付けてください。

2. 壁寄せ専用スタンドの組み立て

1. 底板①のスタンドポールに支柱②を差し込み、支柱固定用ねじ③（4 本）で取り付けてください。
（締め付けトルクは 1.5 〜 2 N·m）

支柱②
前
支柱固定用
ねじ③
スタンドポール

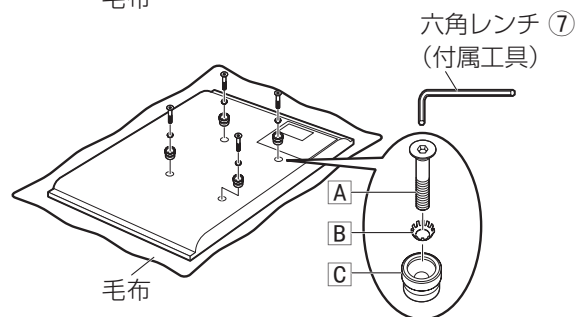
2. 組み立てた角パイプを支柱②のダボに合わせて乗せ、角パイプ固定用六角ボルト⑥（2 本）で取り付けてください。
（締め付けトルクは 8 〜 10 N·m）

組み立て設置工事手順（つづき）

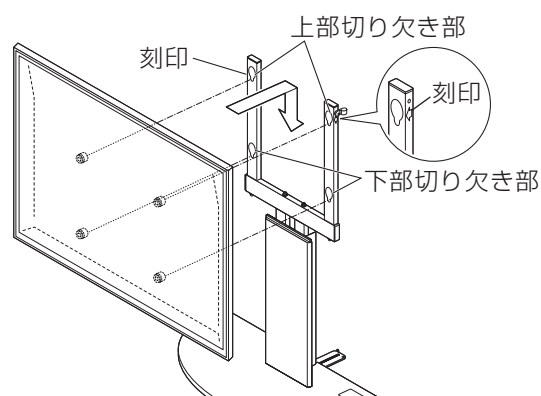
3. 支柱②側面に配線カバー⑨（左右各 1 枚）を、配線カバー固定用ねじ⑩（4 本）で取り付けてください。

4. クランパー⑧（5 本）を角パイプ A ④の背面にある穴 1 か所と、支柱②背面の内側にある穴 4 か所に差し込んでください。

3. プラズマテレビの準備

1. 汚れや異物がついていないきれいな毛布などの上に、プラズマテレビ本体の前面部を下側に置き、次の手順で行ってください。プラズマテレビ本体に突起部がある場合は、キズや破損に注意してください。

2. プラズマテレビ本体からキャップ（4 個）をプラスドライバーで取り外してください。

お願い

●取り外したキャップは大切に保管してください。
（壁寄せ専用スタンドを取り外した場合に必要です。）

3. キャップを取り付けていた場所へ付属の六角穴付き皿ねじ Ⓐ、皿型歯付き座金 Ⓑ、絶縁スペーサー Ⓒ（各 4 個）を付属の六角レンチ ⑦ で右図のように取り付けてください。
（締め付けトルクは 3 〜 4 N·m）

4. プラズマテレビ本体の取り付けと配線処理

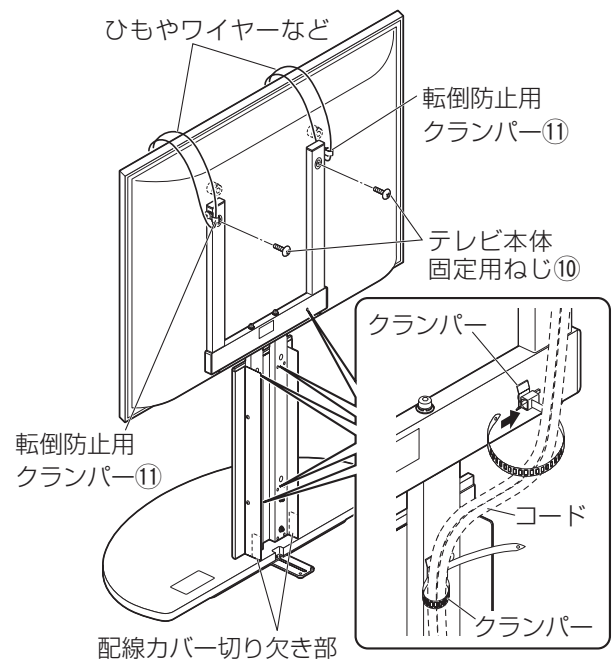
1. 角パイプ B ⑤の切り欠き部 4 か所に、プラズマテレビ本体背面に付けた絶縁スペーサーの位置を合わせて差し込み、そのままプラズマテレビ本体を下げてください。
※スペーサーを差し込む位置は、角パイプ側面にある刻印（⇦）をめやすにしてください。

2. **転倒防止処置の準備として、転倒防止用クランパー⑪に丈夫なひもやワイヤーを通して、プラズマテレビ本体の前にかけてください。**
（転倒防止処置に必要なひもやワイヤーなどは市販品をご利用ください）

3. **角パイプ背面（壁側）の上の穴に、テレビ本体固定用ねじ ⑩（左右各 1 本）を使って、プラズマテレビ本体を固定してください。**
（締め付けトルクは 0.8 ～ 1.5 N·m）

4. **接続機器との配線を行い、長く余ったコードは支柱に付けたクランパーで処理してください。**

5. **プラズマテレビ本体の電源コードおよび、接続機器のコードの配線方向に合わせて、配線カバー下部の切り欠き部をカッターナイフで切り取ってください。**

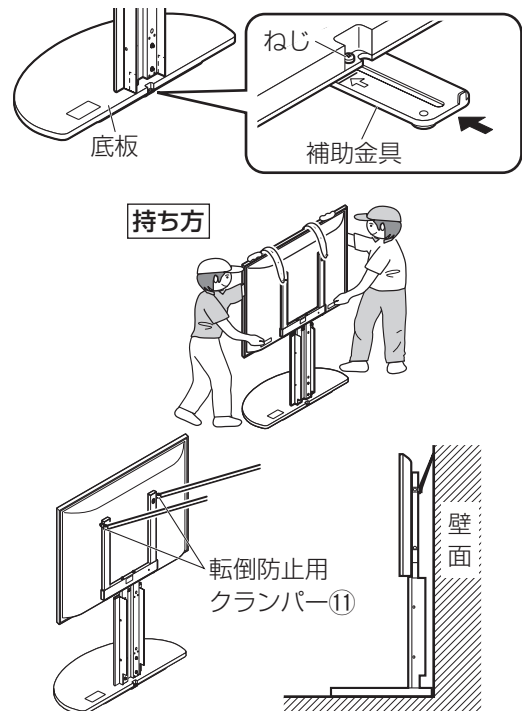
お願い

●一部の HDMI ケーブル（RP-CDHG80 、RP-CDHG100）やパソコン用ケーブルを使用する場合、壁にケーブルが接触し、テレビ本体の HDMI 端子やパソコン入力端子を傷めることがあります。
このような場合はケーブルに負担がかからないように処理してください。

5. 転倒・落下防止処置

1. **底板の補助金具のねじをゆるめ、もとに戻して固定します。プラズマテレビ本体を取り付けた壁寄せ専用スタンドを壁面に沿った設置する場所まで移動させてください。**

お願い

●プラズマテレビ本体を取り付けた壁寄せ専用スタンドは、重量が重くなります。運搬や移動する場合は、指定した箇所を持って行ってください。強い衝撃を与えないように 2 人以上で行い、床面等に傷が付かないよう、ご注意ください。

2. **手順 4-2 で準備した転倒防止用のひもやワイヤーを壁側に固定してください。**

「安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください」

地震の場合などに倒れるおそれがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。
※ 本欄の内容は、地震などでの転倒によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、全ての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

プラズマテレビ本体の移動と取り外し

移動について

●接続機器の増設や掃除など、室内を移動させる場合は、手順 5-1（お願い）に従い行ってください。
●引越しや長い距離を移動させる場合は、プラズマテレビ本体を取り外してください。取り外しは工事専門業者に依頼してください。

取り外しについて

1. 転倒・落下防止処置を外して壁寄せ専用スタンドを引き出してください。
2. 底板の後部についている補助金具のねじをゆるめ、矢印の刻印まで引き出し、ねじを締めて固定してください。
3. 接続機器との配線を外してください。
4. 角パイプ背面（壁側）の上のテレビ本体固定用ねじ⑩（左右各 1 本）を外してください。
5. プラズマテレビ本体を持ち上げながら、手前へ引いて取り外してください。

外形寸法図

対象機種	寸法			
	A	B	C	D
TH-P50V1	1241	774	1299	84
TH-P46V1	1155	730	1255	84
TH-P42V1	1052	668	1193	84

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

パナソニックお客様ご相談センター
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
■携帯電話・PHS でのご利用は…
06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236
365 日／受付 9 時～ 20 時

M0209K0 (PBS)